

平成29年度

## 事務事業評価表 A ( 平成28年度 の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 14 日

事務事業名		普通財産維持管理事業						事業区分		担当	
								新規/継続		事務事業No.	
								継続		010102000049	
		政策体系上の位置付け						単独/補助		020201	
		O101 計画的・効率的な自治体運営の推進						単独		財政課	
政 策 体 系	総合計画の施策名	O1 市民と行政による豊かな地域の自治づくり						主要事業		対象外	
	政策名	O1 計画的・効率的な自治体運営の推進						市長マニフェスト		対象外	
	施策名	O1 効率的な事務事業の推進						未来PJ事業		グループ	
基本事業名		O2 合併建設設計画事業						管財契約G		対象外	
		財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	単年度繰返し		( 平成17 年度~ )	
	01	02	01	07	01	00	財産管理事業	➡ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠											

## (Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

## (1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	【事務事業の内容】 普通財産の維持管理を行う 市有財産の有効活用を図るために市有地及び建物の維持管理及び売却・賃借をおこなう	<ul style="list-style-type: none"> <li>市有地の除草作業及び伐採作業</li> <li>賃貸契約及び請求事務</li> <li>売買契約及び登記事務</li> <li>不用財産の検討及び処分</li> <li>維持管理及び委託契約事務</li> <li>財産審議会の開催</li> </ul>

## (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
普通財産の適切な維持管理	公売件数	件	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	除草作業日数	日	6.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
	土地面積	m <sup>2</sup>	189,244.00	189,244.00	189,244.00	189,244.00	189,244.00
普通財産	未活用市有地面積	m <sup>2</sup>	90,369.97	90,369.97	90,369.97	90,369.97	90,369.97
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
	売却面積	m <sup>2</sup>	420.03	0.00	0.00	0.00	0.00
未活用市有地の有効活用			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定 総投入量
事業費 の 内 訳	国庫支出金 千円	0	0	0	0	0
	県支出金 千円	0	0	0	0	0
	地方債 千円	0	0	0	0	0
	使用料・手数料 千円	0	0	0	0	0
	その他 千円	0	0	0	0	0
	一般財源 千円	14,398	20,265	22,381	20,057	20,000
	事業費計 (A) 千円	14,398	20,265	22,381	20,057	20,000
	正規職員従事人数 人	4,00人	4,00人	3,00人	3,00人	3,00人
	述べ業務時間 時間	1,154.00	1,135.00	1,135.00	1,135.00	1,135.00
	人件費計 (B) 千円	3,348	3,293	3,293	3,293	3,357
事業費 の 内 訳	トータルコスト(A)+(B) 千円	17,746	23,558	25,674	23,350	23,357
	28年度事業費 実績 (千円)					

事業費 の 内 訳	O1 報酬	36		O1 報酬	36	
	11 需用費	9,659		11 需用費	9,626	
	13 委託料	3,319		13 委託料	5,925	
	14 使用料及び賃借料	7,172		14 使用料及び賃借料	6,794	
	19 負担金補助及び交付金	79				
			合 計	20,265		合 計
						22,381
	29年度の事業内容			30年度の事業内容		31年度の事業内容
	※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する					
	・主要事業					
	・市長マニフェスト					
	・未来PJ事業					
	・合併建設設計画事業					

事務事業名	普通財産維持管理事業	事務事業No.	10102000049	所属課	財政課
【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）					
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 普通財産の適正な維持管理を行い、不要な財産の処分をする					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 除草作業は早めに実施してほしい 市有地の公売金額が高い					
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的な内容					
改革改善を行う	借地を返し市有地の有効活用をする。又、企業誘致、社宅地等を含め貸地等の検討をする。 不用地の公売をすすめる。また公売できない土地の一般への貸し出し等の検討をする。				

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

## 評価項目

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性
	結びついている
有効性	②公共関与の妥当性
	妥当である
効率性	③成果の向上余地
	向上余地がある
公平性	④廃止・休止の影響
	影響有
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性
	(他に手段がある場合) ↗
	⑥事業費・人件費の削除余地
	削減余地がない
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地
	公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	維持管理業務は職員で行ったが職員だけでは限界があり市民の要望に対応しきれない。																							
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性																								
<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="flex: 1;"> <input type="checkbox"/> 終了   <input checked="" type="checkbox"/> 継続   <input type="checkbox"/> 廃止   <input type="checkbox"/> 休止         </div> <div style="flex: 1; text-align: center;"> <span>→</span> ■ 改革改善を行う →         </div> <div style="flex: 1; border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px; display: flex; align-items: center;"> <span>(複数回答可)</span> <div style="flex: 1; border-left: 1px solid black; padding-left: 10px; margin-left: 10px;"> <input type="checkbox"/> 目的の再設定   <input type="checkbox"/> 効率性の改善  <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善   <input type="checkbox"/> 公公平性の改善  <input type="checkbox"/> 統廃合ができる   <input type="checkbox"/> 連携ができる         </div> </div> </div>																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								
委託できるものは委託して維持管理を図る。また遊休地の処分検討をする。																								
(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">成 果</td> <td>向 上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維 持</td> <td></td> <td>○</td> <td>✗</td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td>✗</td> <td>✗</td> <td>✗</td> </tr> </tbody> </table>				コスト					削減	維持	増加	成 果	向 上				維 持		○	✗	低 下	✗	✗	✗
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成 果	向 上																							
	維 持		○	✗																				
	低 下	✗	✗	✗																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果 (3)																								
コスト削減優先度評価結果 (9)																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)		
課長確認後の評価		確認欄	
B	A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う）	C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	